

良い面を見て、前向きに生きる ～ 現実逃避とは違う ～

2023年12月12日 本郷通りの美しいイチョウの木を眺めながら順天堂大学に寄った。それから、新渡戸稲造記念センター>淀橋教会での『がん哲学外来メデイカル・カフェ@よどばし』に赴いた(添付)。 順天堂大学で偶然、新渡戸記念中野総合病院理事長・病院長入江徹也先生の医師である息子様にお会いした。 真摯な姿勢には、大いに感動した。

第109回の『がん哲学外来メデイカル・カフェ@よどばし』では、個人面談の機会が与えられた。 その後、参加者から多数の質問を頂いた。

父を看取った時より 思っていることですが、父は入院して一か月で亡くなりました。 父は、『もうこれで十分』とあって死んでいったように思えます。 自分で命の灯を消すことも、燃やすこともできると思われませんか。

人に頼まれたことを断れない性格です。 断ると、何か相手を否定してしまっているような気持ちになります。 でも、しっかりと伝える必要もあると感じます。 相手を傷つけず、断る言葉が、何かありますか。

『少女ポリアンナという物語で、いつも物事を 前向きに捉えて明るく生きている主人公のポリアンナから、ポリアンナ症候群という心理学用語があると聞きました。 これは、現実逃避的な自己満足に陥る症状だと言います。 でも、物語のポリアンナは、現実逃避とは違う気がします。 良い面を見て、前向きに生きることと、現実逃避の違いを教えてください。

先生が手紙に、引用を多く書かれるということが 心に留まりました。 これも、言葉の処方箋ですね。 今日、どんな質問にもお答えくださり、ありがとうございました。

などなど25を超える多数の質問・コメントを頂いた。 筆者は、全力を尽くして答えた。 大変充実した有意義な貴重な時になった。 ただただ感謝である。

がん哲学外来 メディカル・カフェ@よどばし

がん哲学外来とは、
 がんと告知されてから、あなたが考える
 「悩み・不安・想い・願望」などを
 直に聴いて「解消できる道」を一緒に探し
 「医療の隙間」を埋める活動です。
 がんを患うご本人だけでなく、
 支えられている家族の方々の相談も行います。
 今や世界的にも注目されている
 「がん哲学外来 メディカル・カフェ」
 是非どなた様も、お気軽にご参加ください。

がん哲学外来 メディカル・カフェ@よどばし

(現在、感染症対策のため、ミニ講演と質疑応答の
 短縮プログラムとなり、カフェタイムはありません。
 今後もコロナの状況次第で変更されます。)

2023

- 1月 24日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 2月 14日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 3月 14日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 4月 25日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 5月 23日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 6月 27日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 7月 2日 (日) 13:30 ~ 15:00
 メディカル・カフェ@よどばし 9周年記念
- 8月 22日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 9月 19日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 10月 24日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 11月 14日 (火) 13:30 ~ 15:00
- 12月 12日 (火) 13:30 ~ 15:00

患泉女学園理事長
 順天堂大学 名誉教授
 新渡戸記念中野総合病院 新渡戸稲造記念センター 長
 一般社団法人がん哲学外来理事長

ひの おきお
樋野 興夫 先生



※講師のご都合で日程が、また感染症対策の状況でプログラムが変更致しますので、
 事前に日程を今一度ご確認ください！個人面談の予約は3日前までをお願いします。

【専用サイト】

<https://yodobashi-church.com/new/blog/local/medicalcafe/opening-3> E-mail: yobashi@church.email.ne.jp



ウエスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会

<https://yodobashi-church.com>
 169-0073 新宿区百人町1-17-8 TEL 03-3368-9165